

関係者各位

## 赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるカレニア ミキモトイが最大0.01細胞/ml、アカシオ サンガイネアが最大0.04細胞/ml確認されました。

また貝毒発生の原因プランクトンは確認されませんでした。

本日の調査においても、全調査地点にてケイ藻類が多く確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、注意をお願いします。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	カレニア ミキモトイ	アカシオ サンガイネア
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)		
<b>片島 (別図⑦)</b> 採水時間 10:02 透明度 - m	5.0	19.6	34.5	7.1	0.01	0
<b>藻津① (別図⑨)</b> 採水時間 10:17 透明度 - m	10.0	19.3	34.5	7.2	0	0
<b>大島中央① (別図⑤)</b> 採水時間 10:25 透明度 - m	10.0	19.3	34.5	7.3	0	0
<b>青瀬山 (別図③)</b> 採水時間 10:40 透明度 - m	12.0	19.1	34.5	6.9	0	0.01
<b>一切田 (別図⑩)</b> 採水時間 10:45 透明度 - m	10.0	19.3	34.5	6.5	0	0.04
<b>弘浦② (別図①)</b> 採水時間 11:16 透明度 - m	15.0	19.5	34.3	8.4	0	0.03
<b>田ノ浦 (別図⑧)</b> 採水時間 11:27 透明度 - m	3.0	20.3	34.1	7.7	0	0.03